マクセルイズミ株式会社
本社　〒399-8721　長野県松本市大字笹賀 3039 番地
TEL0263(58)5757(代)　FAX0263(86)1002
お問い合わせ先はホームページをご確認ください。
https://www.izumi.maxell.co.jp/kougu/info/area.html

119791131-10A5

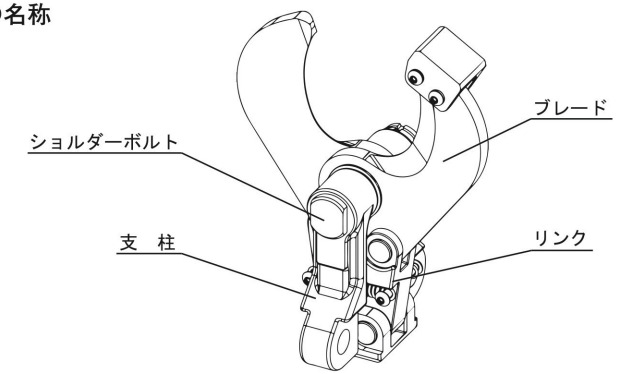
E Robo

REC－200M系
REC－Li250M　　アタッチメント
S7G－M250系
ケーブルカッタ 200AT-50YC

取　扱　説　明　書

マクセルイズミ株式会社

■　各部の名称



■　仕　　様

切　　断　　能　　力

適　用　電　線	最大切断能力（被覆外径㎜）
６００Ｖ－ＣＶ	１５０㎟ ３心（φ４６）
〃	５００㎟ 単心（φ３８）
６００Ｖ－ＩＶ	５００㎟ 単心（φ３５）
６ＫＶ－ＣＶ(ＣＶＴ)	５００㎟ 単心（φ４５）
ＶＶＲ	１５０㎟ ３心（φ４７）

満充電における切断回数
約４０回〔ＲＥＣ－Ｌｉ２５０（ＢＰ－１４２０ＬＮ使用)、６００Ｖ－ＣＶ１５０mm²　３心　切断時〕
約５５回〔Ｓ７Ｇ－Ｍ２５０（ＢＰ－２１２０使用)、６００Ｖ－ＣＶ１５０mm²　３心　切断時〕
【充電条件等により変化しますので参考値としてください】

■使用方法

1．工具本体のスライドピンを反時計まわりに回しロックを解除します。スライドピンを止まるまで引き抜き、圧着ヨーク（メスダイス）および圧着用コマを取り外してください。〔図1〕
2．リリーススイッチを押しピストンを下降終点まで下げます。
3．カッタをシリンダヘッドへ装着します。この時、スライドピンを根元まで差し込み、時計まわりに回し、確実にロックしてください。
セットが不完全な状態で作業をおこないますと、破損する場合がありますのでご注意ください。〔図2〕
4．工具本体のヘッド部は１８０°回転しますので作業に適した角度にセットしてください。
5．被切断物の切断箇所をブレードの間にはさみます。
6．工具本体のスイッチの引金を押して切断します。

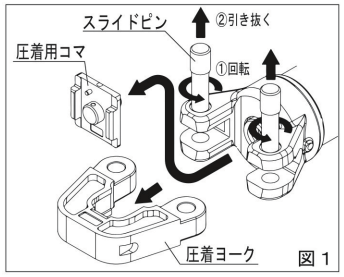


図１

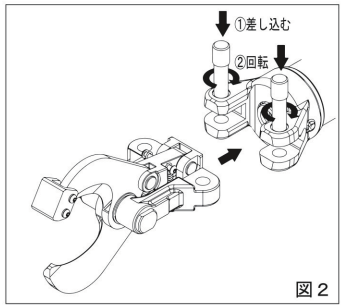


図２

7．切断が完了しますと工具本体の設定がオートリターンＯＮ時はピストンが自動的に下降し、ブレードも同時に開きます。オートリターンＯＦＦ時はリリーススイッチを押してください。押している間ピストンは下がり続け、動きが止まりましたら下降終点です。
8．切断後は、ブレードおよび摺動部に付着している切屑やゴミ等が次の切断作業時にかみ込まないようにきれいに取り除いてください。

■注意事項

1．取扱説明書に記載されている被切断物以外のもの、および切断能力以上の切断はカッタが破損することがあり非常に危険ですので絶対にしないでください。
2．スライドピンは確実に差し込み、ロックした状態で使用してください。
差し込みやロックが不十分ですと工具破損の原因となります。
3．切断開始後はカッタ部に指等を触れないでください。また顔を近づけたり、人に向けるような使用方法は絶対にしないでください。
4．アタッチメントの交換をおこなう際は、作業台の上等の安定した所でおこなってください。落下した場合危険です。
5．切断する際、被切断物はブレード間に確実にはさみ込んでください。ブレードの先端にかかっていたり、はみ出していると破損の原因となりますので十分ご注意ください。〔図３〕

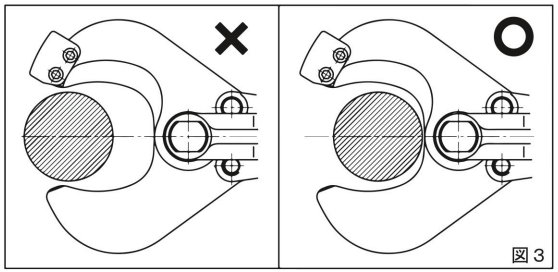


図３

6．工具本体の取扱説明書をよく読んでからご使用してください。
7．ご使用中、切断は被切断物に対し垂直方向におこない、切断動力方向以外への無理な荷重をかけないでください。カッタ刃の破損の原因となります。
8．切断作業時は低温環境下やバッテリ容量が減った状態の場合、ピストン動作や確認ランプが正常に働かない可能性があるため目視にてご確認ください。
9．素線径１㎜以下の電線ケーブルの切断を行わないでください。電線ケーブルの噛み込みによりカッタ刃がロックする場合があります。